

乙堰復旧に関する資料

那賀川の平野部においては江戸時代よりかんがいの為、5箇所程度の堰等の築造を行ってきたが、これらの堰はいずれも松杭に檜等の木を編みあわせ内に石を詰めた簡易な工法であった為、洪水の度流出を繰り返していました。

平成15年 8月 9日の出水(台風10号)により高水敷に埋没していた乙堰が姿を現した為、堤防補強を行うにあたり、地元古老等の意見を参考にしながらかつての堰を復旧しました。

位置図



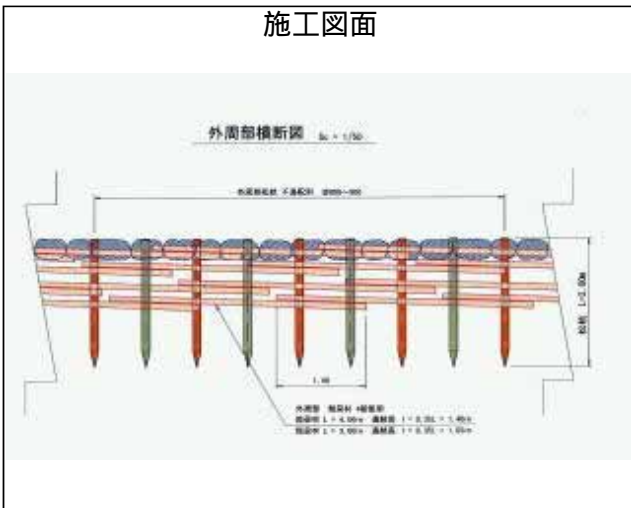
施工前



施工中



施工図面



施工後

